

「ひび割れた、日々。」

—女 ver.—

### 【粗筋】

田舎で暮らす家族の何気ない日々。

父親の浮気によって離婚。男の子は高校生、女の子は中学生だった。子供は母親が引き取り、3人で暮らしていた。母は子供を育てるために昼も夜も働いた。辛かったが苦しくはなかった。昔から子供を育てる事が生き甲斐であったからである。しばらくして息子が高校を卒業し就職するが、仕事が合わず退職し、役者になると言い上京してしまう。可愛がっていた息子がいなくなってしまう母は少し寂しかった。丁度その頃、娘が就職し彼氏が出来、あまり家に居る事は少なくなっていた。なんだか心にぼっかり穴が開いた。

働いている意味を見失いつつあった母は精神的に弱ってしまい、娘に八つ当たりや愚痴をこぼすようになった。初めは母の状態を考え対応してきた娘であったが徐々にストレスが溜まり、母親の元を離れ、彼氏と同棲しようと考え兄に相談するのだが・・・

—ひび割れた、日々の中で私達は生きていく—

### 【登場人物】

- ・ 田村香苗 娘（妹） 20代・・・地元で就職し、母親と共に暮らしている。
- ・ 田村咲紀 母親 20代・・・夫の浮気が原因で離婚し、女手一つで子供達を育てる。
- ・ 田村達也 息子（兄） 20代・・・上京し、役者を目指している。
- ・ 田村瑛佑 元父親 20代・・・離婚後、浮気相手と再婚する。たまに娘と会っている。
- ・ 阿部久美子 父の再婚相手 30代・・・父と浮気をし、結婚する。
- ・ 加藤悟史 娘の彼氏 20代・・・娘と交際し、結婚を視野に入れている。

○舞台上にはテーブルと長椅子が1つ 椅子が2つ

母 椅子に座り、コーヒーを飲みながら雑誌を読んでいる  
娘 しばらくして、入ってくる

娘 おはよー。

母 おはよう。

娘 ああ、よく寝た。

母 すごかったわよ。

娘 なにか？

母 いびき。

娘 え、まじで。

母 まじで。

娘 わー、しょっく。

母 思わず動画撮っちゃった。

娘 え、なにしてんの。

母 携帯で動画を流す

娘 えぐ、こんなの、わたし。

母 あはは、うける。

娘 笑い事じゃないから。

母 自分のいびきってなかなか見れないからねー、貴重映像よ。ラインで送ってあげる。

娘 いらないから。

母 あら、そう？

娘 いません。

母 あれ、達也起きないわね。

母 部屋のドア付近に移動

母 達也ー、起きなさいー、時間ー。

間

母 ほんとにもう…達也ー！

息子 あー、起きてまーす。

母 テーブルの方に戻る

母 起きてるなら返事ぐらいすればいいのに。

母 ね。

娘 ね。 どういう心境なんだろうね。

母 え？

母 あの起きてるのに返事しないやつ。

娘 あー。

娘 あー。

母 起きてないなら分かるのよ。だって起きてないんだもん。  
娘 ー、そうだね。  
母 でしょ、こっちが起こしてるのに。  
娘 でもさ、起きてすぐは返事って出来なくない？  
母 そう？  
娘 うん、だから、一回呼ばれた時に起きて、二回目で返事したんじゃない？  
母 えー、そんなことないでしょ。  
娘 えー、どーなんだろ。  
母 1回目で返事しなさいよ。できるわよ、それぐらい。  
娘 やってみる？  
母 え？  
娘 1回目で返事できるかどうか。  
母 いいわよ。  
娘 眠る  
母  
娘 いくよ。  
母 うなづく  
娘 おかあさん。  
母 はい、起きてます。ほら、できた。  
間  
娘 え？  
母 え、なに？  
娘 ます？  
母 ん？  
娘 起きて「ます」っていった。  
母 え？  
娘 「ます」は違うくない？いま起きたはずなのに起きてたみたいじゃん。  
母 あー、たしかに。  
娘 でしょ？  
母 なんてだろ、なんで「ます」って言ったんだろ。  
娘 あ。  
母 なに。  
娘 人に起こされる時ってさ、なんか悪いことした感じしない？  
母 え？  
娘 ほら、寝坊とか。自分で起きなきゃいけない時に、人に起こしてもらってるわけじゃない。  
母 ああ。

娘 だから起きて「ます」って言ったんだよ、きっと。  
母 そうなの？  
娘 その「ます」には「あなたに起こされなくても、私は起きてましたけどね！」って意味がはいってんの。  
母 えー、私、そんなこと思ってたの？  
娘 たぶん。  
母 あれ、さつき達也起きて「ます」って言ったっけ？  
娘 あ、言った。  
母 あいつ。  
息子 入って来る  
息子 おはよー。  
母 おはよう。  
娘 おはよ。  
息子 あー。  
息子 寝不足気味  
母 調子悪そうね。  
息子 うんー、あんまし寝れなかった。  
娘 ……あたし？  
息子 え、あれ香苗？  
娘 ん？うん、たぶん。  
息子 母さんだと思った。  
母 ふふふ。  
母 動画を見せる  
娘 ちよつとやめて。  
母 いいじゃない。  
息子 うわ、まじだ。  
娘 動画を止める  
息子 もう、やめてよー。  
息子 昨日は一段と凄かったなあ。  
娘 疲れてたの。  
息子 そっか、そっか。  
母 貴重映像だから、これ。  
息子 そうだね。  
娘 もう、消してよ。  
父 入ってくる  
父 おは…

母・娘・息子 父を見る

照明変化

娘 田村香苗。現在、母と兄と3人で暮らしています。

母 もう、終わりにしましょう

娘 私が中学生の時に両親が離婚。

父 いや、でも

母 でも、何？

父 子供達のこととかさ

母 私が面倒をみます。

娘 理由は

息子 今更父親面すんなよ、あんたが女と

娘 浮気が原因です。兄は高校生。

父 ごめん

息子 シンプルに謝ってんじゃねえよ。

父 いや、でもしちゃったものは、もう変えられないから。シンプルにいこうと思ってさ。

母 あなたのそういうところ大嫌い。

娘 ねえ、なんかしたの？

母 出たって。シンプルに出たって。

父 え？

母 いますぐ出たって。

娘 どこいくの？

父 ちよつと

母 慰謝料は請求しませんでした。あの人にそんな収入はありません。私は1人で子供達を育てました

音楽に合わせたダンスシーン（食事や家事を行ったり日常の動きをダンス化）

音 CARAVAN PALACE/DORAMOPHONE 0〜1分04秒

母 タウンワークを見ている

息子・娘が食事を取っている

息子 少しして食事を止める

息子 また増やすの？

母 うんー、ちよつとねえ。

息子 体壊すよ、ほんとに。

娘 …

母 ー、でもねえ、そうも言ってもらえないからねー。

息子 おれ、バイト増やすし。

母 だめ、これ以上増やしたら勉強する時間なくなっちゃうって。

息子 いやー、でも……

母 いいから、お母さんの事は考えなくていいから、ね。

息子 ……うん。

息子 食事を取る

母 子供達がご飯をたべているだけで

娘 これうまいね。

息子 うん。

母 幸せでした……ただ、できることなら……もっと。

息子 食事を止める

息子 母さん、おれ、就職するよ。

母 え？

息子 大学行っただってやりたいことないし、行く意味ないしさ。

母 でも、大学いったら何か見つかるかもしれないじゃない。せつかく進学校行っただから。何のためにいままで勉強してきたの。

息子 でも、やりたいことないし。

間

母 お金の事ならなんとかなるから。奨学金だってあるし。

間

息子 いや、でも。

母 でも、なに？

息子 ーん、なんでもない。

母 なんでもないことないでしょ。

息子 もう少し考えてみるよ。

母 ……そう。

息子 うん。

娘 食事を止める

娘 わたしが離婚したせいで、この子に負担をかけてしまっている

母 もっとお金があれば、あの時、離婚しなければ

娘 きつと、

母 息子は

娘 就職なんて

息子 考えなかったのに

息子 食器を片付ける

息子 ごちそうさま。

母 お粗末様。

息子 その場を去る  
娘 再び食事を取ろうとする  
母 香苗は将来のことどう考えてる？  
娘 食事を止める  
娘 この時私は中学3年生  
母 やりたい事とかあるの？  
娘 どの高校いくのならまだしも  
母 何かあったらお母さんに何でも言うのよ。  
娘 将来の事とか。  
母 ね。  
娘 ね。  
母 ね、じゃなくて。  
娘 ー、わかんない。  
母 わかんないじゃくて。  
娘 ひとまず高校は卒業する。  
母 そうね、何をするにも高校は卒業しないと。  
娘 ……そうだね。  
母 そうよ。  
娘 「何をするにも」という言葉の中には「就職」の2文字しか見えなかった。  
母 お母さんも頑張るから。  
娘 うん。  
母 食器を片付け、部屋を出ようとする  
娘 お母さん。  
母 ー？  
娘 ーん、なんでもない。  
母 そう。  
母 その場を去る  
娘 なんでも、ない。  
**携帯電話の音**  
父 もしもし。  
娘 もしもし。  
父 いま、だいじょうぶか？  
娘 うん、少しなら。  
父 そつか。  
娘 うん。  
息子 父が嫌いではなかった。



父 ちゃんと食べてるか？  
娘 うん。  
息子 母も父も好きだった。  
娘 お父さんは？  
父 父さんはだいじょうぶ。  
息子 だから…だから僕は…  
娘 そっか。  
息子 電話を代わる  
息子 もしもし  
父 ……  
息子 達也です。  
父 声でわかるよ。  
息子 大変だよ。  
父 え？  
息子 え？じゃなくてさあ。  
父 ……すまん。  
息子 あやまるくらいなら、なんとかかしてくれよ。  
父 ……すまん。  
息子 おれ、就職するんだ。  
父 え？でも  
息子 家族を支えるのはおれしかないから。  
父 ……  
息子 就職するんだ。  
父 電話を切り、その場を去る  
息子 娘に電話を返す  
息子 がんばるかあ。  
娘 ……  
息子 香苗は自分のやりたいこと見つけて。  
娘 ……でも。  
息子 家の事は考えなくていいから。な。  
娘 その場を去る  
母 入って来る  
母 なにしてるの？  
息子 別に。  
母 そう。  
間

息子 母さん

母 ん？

息子 おれ、やっぱ就職する。

母 …ちゃんと考えたの？

息子 うん。

母 いいの？

息子 うん。

母 こっちで働くの？

息子 うん、家好きだし、こっちで働く。

母 そう。

息子 うん。

母 ごめんね。

息子 え？

母 ごめんね。

息子 なんであやまるのさ。

母 ごめん。

息子 おれが決めたんだから。

母 お母さんがもつとがんばれば。

息子 違うって、母さんは頑張ってるって。

母 …ありがとう。

娘 ケーキを持ってくる

娘 就職おめでとー！

息子 そんな、ケーキとか、いいのに。

母 せっかくだし、いいじゃない。

娘 ほら、写真撮ろう、写真。

娘 写真を撮る

娘 行くよ。

音 カメラの音

母 息子 フリーズ

母 娘が家を明るくしてくれました、

以降、ラストの文節被せ

母 いままでそんな子じゃなかったのに。

息子 僕と母さんが家の事で苦しんでいる時、妹は明るくしていました。

娘 なるべく明るくしようと思いました。慣れてくると、なんだか、私は元々明るい人

だったのかもしれない。

ラストの文節被せ 終了

娘 チェックしまーす！  
3人 携帯を覗く  
娘 めっちゃいい笑顔ー！  
母 えー、いい写真ー！  
息子 僕にはそれがとても苦しそうに見えた。  
娘 母さん切って切って。  
母 はい、はい。  
母 ケーキを3等分にする  
娘 達也の分は大きめにね。  
母 はいはい。  
息子 いや、いいよ。香苗の分、大きめに。  
娘 いいよー。  
息子 いいから。  
母 今日は達也のお祝いだから、ね。  
母 兄の分を大きめにカットし、皿に分ける  
母 よし。せーの。  
母・息子・娘 いただきます。  
息子 うま。  
娘 うん。  
母 おいしい。  
息子 ショートケーキは裏切らないね。  
娘 うん。  
母 みんなで食べるからおいしいの。  
息子 ……そうだね。  
娘 ……  
母 そうだよ。  
息子 ケーキを食べ終わる  
息子 ご馳走様。  
母 お粗末様。  
息子 遠くを見つめ、深呼吸を一つ  
母 明日から社会人ね。  
息子 そうだね。  
娘 達也、緊張してるの？  
息子 少し。  
母 新しい世界だからね。みんな緊張するものよ。  
娘 そっか。

息子 うん。

母 息子の肩に手を当てる

母 大丈夫、大丈夫。

息子 母の手をゆっくり離す

息子 よし。

娘 どうしたの？

息子 んーん、なんでもない。

母 なんでもないことないでしょ。

息子 なんでもない、部屋で明日の準備して、寝る。

母 そう。

娘 緊張して寝れないんじゃない？

息子 うるさい。

母 一緒に寝ようか？

息子 いいよ！もう、子供じゃないんだし。

母 親にとってはねえ、いくつになっても子供は子供なの。

息子 はいはい。

娘 一緒に寝ようか？

息子 だからいいって！もう子供じゃ

母・娘 親にとってはねえ、いくつになっても子供は子供なの。

母・娘 軽く笑う

息子 おやすみ。

母 おやすみ。

息子 その場を去る

母 ちゃんと準備してから寝るのよ。

息子 わかってるってー！

母 心配ね。

母 息子の様子を見に行く

#### 携帯電話の音

父 もしもし。

娘 もしもし。

父 いま、だいじょうぶか？

娘 うん、少しなら。

父 そっか。

娘 うん。

母 私が子供たちを育ててきた

父 ちゃんと食べてるか？

娘 うん。  
母 必死に育ててきた  
娘 お父さんは？  
父 父さんはだいじょうぶ。  
母 だから、だから私は  
娘 そっか。  
母 電話を代わる  
父 ……  
母 母です。  
父 声でわかるよ。  
母 こっちは元気にやっています。  
父 ……そうか。  
母 はい。  
父 ……すまん。  
母 もう、電話しないで。  
父 ……すまん。  
母 お願いですから。  
父 ……すまん  
母 達也、就職決まったの。  
父 ……  
母 私も、仕事1つ減らせると思う。  
父 ……  
母 一家の大黒柱です。  
父 電話を切り、その場を去る  
母 娘に電話を返し、その場を去る  
娘 再び父に電話をかけるが出ない  
息子 スーツ姿で登場  
娘 へー。  
息子 ……なんだよ。  
娘 社会人扱い。  
母 部屋に入ってくる  
母 これ、おにぎり。  
息子 ありがと。  
母 納豆と、筋子。  
息子 納豆？

母 うん、納豆と筋子。  
息子 いや、匂うって。いつも言ってるじゃん。  
母 大丈夫、納豆先に食べて、その後筋子食べれば、あんまり匂わないから。筋子が納豆を大きく上回るから。  
息子 いや、でも。  
母 それにイソフラボンが入ってるし納豆。テレビでやってたのよ。  
息子 えー、でも。  
母 いいから。取っておいて悪いことないからイソフラボン。  
息子 …うん、ありがとう。  
母 ちゃんと食べなさいね。  
息子 うん。  
母 先に納豆食べるのよ。  
息子 わかったって。  
母 わかってればいいんだけど。  
息子 じゃあ、行ってきます。  
母 行ってらっしゃい。  
息子 本日からこちらの会社で働くことになりました田村達也です。宜しくお願い致します。  
母 今日から達也が大黒柱。  
息子 そのデータこっちに送っといて。  
母 社会人として立派に働くの。  
息子 うし、お疲れさまでした！  
娘 母はそんなこと口にしなかったけど。  
息子 僕が勝手にそう思い込んでいた。  
母 おかえり。  
息子 たいだい。  
母 どう？少しは慣れた？  
息子 ー、そうだね。  
娘 3ヶ月いたら慣れるでしょ。  
息子 うん。  
母 ご飯は？  
息子 食ってきた。  
母 そう。お風呂は？  
息子 朝、入る。  
息子 その場を去る

間

娘 変なの？  
母 新しい環境だからね。慣れないのよ。  
娘 そっか。  
母 そう。  
娘 でもバイトしてたし、そんな変わるかなあ？  
母 バイトとはね、責任が違うから  
娘 責任？  
母 責任。  
娘 責任ねえ。  
間  
娘 違う責任もあると思うけど。  
母 違う責任？  
娘 ……んーん、なんでもない。  
母 なんでもないことないでしょ。  
娘 なんでもないの。  
母 そう？  
娘 そう。  
息子 本当に思っていることは、大体  
娘 「なんでもない。」  
息子 と言つてごまかしてしまう。  
母 どうしたの？  
息子 なんか、眠れなくて。  
母 そう。  
娘 その場を去ろうとする  
娘 眠くなって来た。おやすみ。  
母 おやすみ。  
間  
母 なんかあったかいものでも飲む？  
息子 うん。  
母 電気ケトルでお湯を沸かす  
間  
母 なんかあったの？  
息子 え？  
母 なんとなく。  
息子 んー、なんかあったって言えばあったし、なんもないって言えばなんもない。  
母 になよ、それ。

息子 そのまま。なんかあったって言えばあったし、なんもないって言えばなんもない。  
母 じゃあ、なんかあったと言えば何があったの？

間

電気ケトルのお湯が沸く

息子 んーん。なんでもない。

母 なんでもないことないでしょ。

息子 んーん、なんでもないよ。

息子 コーンポタージュを作る

母 ねえ、なにか困ったことあったら言いなさいね。

息子 わかってるって。

息子 コーンポタージュを飲む

母 ……

息子 寝たら？もう遅いし。

母 ……

息子 あしたもパート早いでしょ。

母 ……そうね。寝る。おやすみ。

息子 おやすみ。

母 その場を去る

息子 コーンポタージュを一気に飲む

母 娘 白ワイシャツとスーツを持って来て兄に着せる

息子 着ているのか、着させられているのか。

息子 食べているのか、食べさせられているのか。

息子 働いているのか、働かせられているのか。

母・娘 行ってらっしゃい。

息子 行ってきます。

息子・母・娘 つり革を掴むマイム

息子 電車に揺られ、会社に向かう

息子・母・娘 横に揺れる

娘 ドアが閉まります。

母 閉まる扉に御注意ください。

息子 会社まで、あと5駅。

娘 ガタ

母 ン

母 ゴト

娘 ン

息子 体が重い。



娘 会社に着いちゃえば後は

息子 なんとかなるよ。

母 働きたい人なんて

息子 いないんだから。

娘 ガタ

母 ン

母 ゴト

娘 ン

娘 ガタ

母 ン

母 ゴト

娘 ン

息子 電車を降りようとするが、降りることができない。

暗転

音 ドア閉まる

明転

母 え？

息子 黙って椅子に座る

母 仕事は？

息子 ……

母 どうしたの？具合悪い？

息子 具合悪いっちゃ悪いし、悪くないって言えば悪くない。

母 ……ちゃんと言って。

息子 ……

母 ねえ。

息子 辞めたい。

母 え？

息子 仕事。

母 どうして？

息子 ……

母 黙ってたら何にもわかんないでしょ。

息子 母さんはどうしてほしい？

母 え？

息子 このまま働いて、頑張って欲しい？

母 頑張るって欲しいっていうか、その。

息子 家族のために。

母 ……  
息子 違う？  
母 息子をビンタする  
息子 母の手を握る  
息子 ごめん…ごめん。なんでもないから。  
母 なんでもないじゃない。  
息子 母を座らせ スーツの上着を椅子にかける  
娘 彼氏 入って来る  
娘 椅子に座る  
彼氏 なー、どうすんの？  
娘 何が？  
彼氏 高校終わったら。  
娘 就職かな。  
母 娘には彼氏がいました。  
彼氏 何やんの？  
娘 なんでも。働けばなんでも。  
彼氏 そっかあ。  
娘 うん…地元で就職です。  
彼氏 おれもそうしよっかなあ。  
母 家族には話せない事を  
息子 唯一話せる相手。  
彼氏 そしたら、一緒に暮らせる。  
娘 ……そうだね。  
彼氏 なんだよ。  
娘 え？  
彼氏 なんか、こう、あんじゃん。  
娘 なんか？  
彼氏 一緒に暮らせるね、みたいな、なんか。ぼわってさ。  
娘 ああ。  
彼氏 え？いやなの？  
娘 あ、いや、嫌じゃない嫌じゃない。けど。  
彼氏 ……  
娘 お父さんとお母さん見てるから。  
彼氏 ああ、そっか。  
娘 うん、そうなの。  
彼氏 おれは、大丈夫だよ。

娘 ……そうかな？

彼氏 うん、大丈夫。

娘 そっか。

彼氏 早く卒業したいなー。

娘 そうだね。

音 学校のチャイム

彼氏 わ、授業始まる。じゃね！

娘 じゃねー。

彼氏 その場を去る

娘 授業を受けている

母 これからどうするの？

息子 え？

母 仕事。

息子 ……

母 達也。まだ働いて3ヶ月なの。

息子 うん。

母 はじめは誰だって嫌なものだって。

息子 うん。

母 もう少しだけ頑張ってみない？

息子 ……うん。

母 会社に電話しよう。

息子 ……

母 達也。

息子 ……わかった。ごめんね。

息子 会社に電話をかける

娘 あの時、無理をさせず仕事を辞めさせる

母 べきか。

娘 社会人としてまっとうに働かせる

母 べきか。

娘 本当にわからなかった。

母 そもそも。

息子 まっとうって

母・娘・息子 何？

息子 今日はもう、休んでいいって。

母 そう。

息子 ごめんね。

母 お母さんこそ、全然気付いてあげられなくて、ごめんね。  
息子 ……んーん。  
母 少し横になったら。  
息子 うん。  
息子 娘 ハイタッチをする  
娘 「就職」の2文字が強く…強く。  
母 おかえり。  
娘 たいま。  
娘 椅子に懸かっているスーツの上着を見る  
娘 お、達也、今日は早いね。  
母 そう…早い。  
娘 そっか。  
母 そう。  
娘 間  
娘 どうしたの？  
母 んーん、なんでもない。  
娘 そう？  
母 そう。  
娘 間  
母 いや、その。  
娘 うん？  
間  
母 いや、なんでもない。  
娘 なにー？絶対なんかあるじゃん。  
母 ……あのね、達也、会社休んじゃって、  
娘 ……うん。  
母 会社辞めたって。  
娘 あー、そっか。  
母 うん。  
娘 ……なんか、苦しそうだったもんね。  
母 そうねえ。  
娘 うん、まあ、仕事大変なんだなあって。  
母 そっか。  
娘 うん。  
母 でも、もう少し、頑張ってみるって。  
娘 そっか…無理しなきゃいいけど。

母 …無理させてるよね。  
娘 ん？  
母 お母さんのパートのお金だけじゃ生活も苦しいし、だから就職してくれたと思うし、  
娘 それは嬉しいんだけど。  
母 うん。  
娘 無理させてるんだよね。  
母 ……  
娘 お母さんがもつと…  
母 ……  
娘 もつとねえ…  
母 ……今日ごはん何？  
娘 え？  
母 ご飯。  
娘 ああ、ご飯ね。  
母 うん、ご飯。  
娘 今日はカレー。  
母 あ、やった。  
娘 お腹空いた？  
母 うん。  
母 ご飯にしよっか。  
母 カレーを取りに行く  
娘 あ、手伝う。  
母 ありがとう。  
母 達也ー、ごはんー。  
母・娘 カレーを運んでくる  
息子 降りてこない  
母 息子の部屋に向かおうとする  
娘 後で食べるんじゃない？  
母 だといけれど。  
娘 いただきます。  
母 ……いただきます。  
娘 うま。安定の味。  
母 それはなによりでございませう。  
母 一口食べて 食事が止まる  
娘 しばらく食べる  
娘 どしたの？食べないの？

母 うーん。  
娘 おいしいよ。  
母 食べるか。  
母 カレーを食べ始める  
息子 降りてくる  
娘 あ。  
母 やつと降りてきた。  
息子 カレー？  
母 うん、カレー。ほら、冷めない内に。  
息子 うん、いただきます。  
3人 黙々と食べる  
娘 ごちそうさま。  
母 はい、お粗末さん。  
娘 食器を片づけようとする  
母 あ、いいよ、置いといて。後でまとめて持ってくから。  
娘 あ、そう？ありがと。  
娘 椅子に座り携帯ゲームを始める  
母 食べ終わる  
母 ふー、食べたー。  
息子 食べ終わる  
息子 ごちそうさま。  
母 はい、お粗末さん。  
母 皆の食器を片づけ、持って行く  
息子 聞いた？  
娘 何が？  
息子 仕事先の話。  
娘 …うん。  
息子 そっか。  
娘 うん。  
息子 ぼーっとした後 深呼吸  
間  
息子 ごめんな。  
娘 ん？  
母 戻って来る  
息子 ごめん。  
母 どうかした？

息子 深呼吸

息子 んーん。

母 ……

息子 部屋に戻ろうとする

母 達也。

息子 立ち止まる

母 大丈夫？

息子 ……大丈夫。明日から、また、頑張る。

母 ……うん。

息子 その場を去る

母 なにあったの？

娘 なにって……うーん。

母 うん。

娘 ごめんって……それだけ。

母 そっか。

娘 うん。

間

娘 もうちよつと、食べようかな。

母 え？

娘 カレー。

娘 カレーを取りに行く

母 ぼーっとした後、深呼吸

娘 戻って来る

母 珍しいね。

娘 ん？

母 おかわり。

娘 そうかな？

母 うん。

娘 カレーを食べ始める

母 どうしようねえ。

娘 ん？

母 娘を見つめる

母 んーん、なんでもない。

娘 カレーを食べるスピードが上がる

母 お母さんが……もつと

娘 荒々しくカレーを食べる

母 がんばりなくちゃ

娘 スプーンで皿を叩く

間

母 どうしたの？

娘 ーん。

娘 食器を持ってその場を去る

母 しばらく携帯を見ている

母 父に電話をかける

音 携帯着信音

父 携帯を見る

父 しばらく携帯を見ている

父 ……もしもし。

母 ……もしもし。

間

父 どうした？

母 ……

父 なんかあったのか？

母 ……少し。

父 そうか。

間

母 達也がね、仕事辞めたいって。

父 うん。

母 うんって。

父 それで？

母 え？

父 どうしたんだ？

母 まだ働いて3ヶ月だし。

父 うん。

母 もう少し頑張ってみたらって。

父 うん。

母 辛そうだったけど、明日からまた頑張ってみるって。

父 そうか。

母 うん。

父 頑張りすぎるからなあ。

息子 娘 元夫の上着の服の裾を掴む

母 え？



父 家はみんな。  
母 ……  
父 なー。  
娘 ねー、なんでお母さんは私に勉強勉強言うの？  
父 ーそーだなー。  
息子 将来のためだよ。  
娘 将来？  
息子 いい仕事につくため。でしょ？  
父 言いたかっただけじゃないか？  
息子 え？  
父 勉強勉強って。お母さんになるとなあ、なんか言いたくなるらしい。  
娘 へー、そうなんだ。  
父 のび太のお母さんだってサザエさんだってよく言うだろ。  
息子・娘 あー。  
父 言ってるとお母さんぽくなるしなあ、勉強勉強。  
娘 勉強勉強。  
息子 勉強勉強。  
父 少し母の真似をしながら  
父 勉強勉強。  
娘 勉強勉強。  
息子 勉強勉強。  
父・息子・娘 笑う  
母 勉強！勉強！  
息子・娘 その場を去る  
父 目線で息子・娘を追う  
母 ちよーどよかったのかもね。  
父 え？  
母 あなたみたいな人がいて。  
父 ……どうだろうな。  
浮気相手 父の様子を伺う  
父 あ。  
母 どうしたの？  
父 いや、なんでもない。  
母 そう。  
父 じゃあ、またなんかあったら。  
母 うん。

父 電話を切り 浮気相手と共にその場を去る  
母 また、何かあったら。  
母 しばらくぼーっとし テーブルの上で眠る  
息子 スーツを着て出て来る  
息子 おはよう。なんだよ、心配そうな顔して。  
息子 母の肩を触る  
娘 もう大丈夫だから。いってきます。  
娘 入ってくる  
娘 母さん、私、就職するよ。好きな仕事とかまだわかんないし、やってみてから考えてもいいかなって思っ  
息子 昨日は体調不良により休んでしまい、誠に申し訳ありませんでした！  
娘 こっちで就職して、少しでも家にお金入れられたら、ね。  
息子 今後、このような事がないように普段から身を引き締めていきますので、宜しくお願  
母 願致します！  
母 うるさい！  
息子・娘 フリーズ  
母 呼吸が乱れている  
携帯で時間を確認する  
母 その場を去る  
息子・娘 椅子に座る  
娘 おかえり。  
息子 ……た  
娘 やっぱり働くって大変？  
息子 うん、そうだな。  
娘 そっか。  
息子 うん。  
娘 やめよっかなー。  
息子 え？  
娘 就職。  
息子 お前、就職すんの？  
娘 うん、しよっか  
息子 そっか。  
娘 うん。思ってたけど。  
息子 けど？  
娘 ーん、なんでもない。  
息子 なんだよ。

娘 いいじゃん、別に。  
息子 いいことないだろ！  
間  
娘 なんか、ごめん。  
息子 ……  
娘 ごめん。  
息子 いや、おれの方こそ。  
母 入ってくる  
間  
母 ……お帰り。  
息子 ……ただいま。  
娘 兄は仕事を辞めました。  
母 これからどうするの？  
息子 ……  
母 ごめんね、今日ぐらい  
娘 ゆっくりしたらいいよ。  
息子 ……うん。  
母 ごめんね。  
娘 ごめんねの中にたくさん、たくさん詰まっていた  
息子 とりあえず、バイトしながら仕事さがそうと思う。  
母 ……うん。  
息子 その場を去る  
娘 ……母さん、私、就職する。  
母 え？  
娘 彼氏もこっちで就職するみたいだし。  
母 でも。  
娘 特にやりたいことだっただけだし。  
母 家の事なんて考えなくていいんだからね。  
娘 ……  
母 お母さんが頑張れば、なんとかなるから。  
娘 なんとかならないじゃん。  
母 ……  
娘 なんとかならないからこうなったんでしょ。  
母 やめて！  
娘 ……ごめん。  
母 息が切れる

娘　：ごめんね。  
娘　母の背中をさする  
母　娘の手を触る  
母　ごめんねの中に、たくさん、たくさん。  
娘　その手を強く握る  
母　立ちあがり　自分の頬を軽く叩く  
母　ふう。  
娘　その場を去る  
母　高校卒業後、香苗は就職し、達也はバイトをしながら仕事を探していました。  
息子　パジャマ姿で入ってくる  
息子　欠伸を1つ  
母　おはよう。  
娘　スーツ姿で出て来る  
娘　おはよー。  
息子　おはよ。  
母　おはよう。  
娘　兄はなかなか仕事が見つかりませんでした。  
母　というより、  
息子　バイトから抜け出せませんでした。  
母　息子　タウンワークを開き赤ペンで気になる会社をチェックしていく  
母　いいところありそう？  
息子　んー、ぼちぼち。  
母　そう。  
娘　母は達也に優しくなりました。  
母　無理しない程度にね。  
娘　優しいって言葉が合っているかはわかりません。  
母　家の事はお母さんが何とかするから。  
娘　なんとかしているのは私。  
息子　わかってるって。  
娘　それが達也へのプレッシャーにもなっていました。  
母　わかってくればいいんだけど。  
娘　わたしにも。  
息子　うん。  
娘　いくか。  
息子　強いなあ。  
娘　え？

息子 着ているのか、着させられているのか。

息子 食べているのか、

息子・娘 食べさせられているのか。

娘 働いているのか、働かせられているのか。

母・息子 いってらっしゃい。

娘 行ってきます。

息子・母・娘 つり革を掴むマイム

娘 電車に揺られ、会社に向かう

息子・母・娘 横に揺れる

娘 ドアが閉まります。

息子 閉まる扉に御注意ください。

娘 会社まで、あと5駅。

息子 ガタ

母 ン

母 ゴト

息子 ン

娘 体が重い。

息子 会社に着いちやえば後は

娘 なんとかなるよ。

母 働きたい人なんて

娘 いないんだから。

息子 ガタ

母 ン

母 ゴト

息子 ン

息子 ガタ

母 ン

母 ゴト

息子 ン

音 扉が開く音

娘 普通に車両から出る

息子 扉をこじ開けようと出られない

息子 息を切らしその場を去る

母 後を追いつ、その場を去る

娘 母・娘を目で追う

娘 何だ、これ。

音楽に合わせたダンスシーン（食事や家事を行ったり日常の動きをダンス化）

音 CARAVAN PALACE/DORAMOPHONE

娘・父 椅子に座っている

娘 私は父の家に行くようになりました。

父 おー、よくきたな。

娘 疲れたー。

父 だいぶ馴染んで来たな。

娘 なにが？

父 スーツ。

娘 そう？

父 うん。

娘 半年も着てたらね。

娘 スーツの上着を脱ぐ

父 嫌でも馴染むか。

娘 そだね。

父 そうか。

娘 あれ、久美子さんは？

父 あー、買い物。

娘 ふーん。

父 お菓子用意しなきゃって。

娘 お菓子？

父 うん、香苗が来るからって。

娘 別にいいのに。

父 もうすぐ帰って来ると思う。

浮気 ただいま。

父 お、噂をすれば。

浮気 なに？

父 ちようどお前の話をしてて。

浮気 えー、なに？悪口？

娘 違いますよ。

父 どちらかと言えば良い方だよ。

浮気 何よどちらかと言えばって。曖昧。

父 そう言われてもなあ。

浮気 あ、そえばさつき私くしゃみしたわ。一回。一回だけ。

娘 回数関係ありますか？

浮気 一にはめられ二に憎まれ三に惚れられ四に風邪をひく

父 何それ？  
浮気 くしゃみの法則  
父 え？  
浮気 一回は、誰かに褒められている時で、二回は誰かに憎まれているときで、  
父 うん。  
浮気 三回は誰かに惚れられている時で、四回が自分が風邪を引いている時。  
父・娘 へー。  
浮気 だから、私は褒められていたのよ。  
父 なにで知ったの？それ。  
浮気 なんかネットで見た。  
娘 へー。  
浮気 ねえねえ、なに褒めてくれてたの？  
娘 久美子さんは以前の浮気相手。  
父 いやー、褒めるって程の事でもないんだけど。  
娘 今は父さんの再婚相手。  
浮気 なによそれ、言いなさいよ。  
娘 怒りや悲しみやその他諸々がありましたか？  
浮気 ねえ、香苗ちゃん、何話してたの？  
娘 久美子さんといると元気になるねって、そんな感じ。  
浮気 あら、嬉しい。素直にそう言えればいいのに。  
浮気 父の方を見る  
父 なんだよ。  
浮気 なんでもありません。香苗ちゃんお菓子食べる？  
浮気 お菓子をとり出す  
娘 あ、いただきます。  
浮気 うん、食べて食べて。  
浮気 お菓子の袋を開ける  
父・浮気・娘 お菓子を食べる  
浮気 あ、飲み物。飲み物。  
浮気 その場を去る  
父 どうだ？  
娘 なが？  
父 家の方は？  
娘 ー、どうだろ。  
父 達也は？  
娘 バイト。

父 仕事、まだ見つからないか。  
娘 うん、見つからないっていうか。  
父 っていうか？  
娘 なんだろ、本当は見つけたくないんだと思う。  
浮気 入って来ようとするが立ち止まる  
父 …ほー。  
娘 ほーって。  
父 見つけたくないかあ。  
娘 たぶん。  
父 つらいなあ。  
娘 そうかな？  
父 つらいと思うぞ。  
娘 みんな好きな仕事なんてしてないよ。  
父 そうだなあ。  
父 浮気に気付く  
浮気 あ、わたし、飲み物だけ置いとくね。  
娘 あ、大丈夫ですよ、お気になさらずに。  
浮気 親子で話したい事もあるだろうし。  
浮気 飲み物を置く  
娘 いえ、ありがとうございます。  
浮気 椅子に座る  
間  
浮気 あ、やっぱり、あれよね、ごめんね。  
娘 あ、いえ、なんかすいません。  
浮気 その場を去る  
父 ため息を1つ  
父 ごめんな。  
娘 ごめんなの中にたくさん、たくさん詰まっていた  
父 つらいなあ。  
娘 だよ。しかも妹の私が働いてたら尚更。  
父 そうじゃなくて。  
娘 え？  
父 香苗が。  
娘 私？  
父 そう。



娘 私は別に。  
父 娘の頭を撫でる  
娘 少しして手を払う  
娘 子供じゃないんだから。  
父 大人になっても、子供の時はないとな。  
娘 どういうこと？  
父 そのまま。  
娘 そのまま？  
父 父ちゃんの前では、子供らしくいろ。  
娘 怒りと悲しみと、  
父 いいな？  
娘 その他、諸々。  
父 な？  
娘 …うん。  
父 財布から5000円を取り出し渡す  
娘 これでなんか美味しいもんでも、な。  
父 いいよ。  
父 いいから。  
娘 渋々受け取る  
父 これぐらいしかできなくてごめんな。  
娘 首を横に振る  
父 あいつ、どこいったんだ。  
父 浮気を探しに行く  
娘 5000円を財布にしまう  
母 テーブルクロスを裏返す  
息子 椅子に座る  
母 遅かったね。  
娘 うん、ちよつと。  
息子 彼氏？  
娘 ー、そんなとこ。  
息子 なんだよ、それ。  
娘 なんでもいいでしょ、別に。  
息子 いいなー、おれも彼女欲しいわー。  
娘 女なんてそこらじゅうにいっぱいいるじゃん。  
息子 いるけどさー。フリーターよ、おれ。  
娘 うーん、まあ。

息子 地元でフリーターって、ねえ。

息子 母親を見る

母親 ん？

息子 彼女ほしー。

娘 まず仕事決めるところからじゃない？

母親 そうねー。

息子 だよねえ。

間

娘 達也さあ、本当に就職する気ある？

息子 え？あるよ。

娘 ずっとタウンワーク見てるだけじゃん。

息子 次は失敗しないようにちゃんと探してんだよ。

娘 あー、そう。

息子 なんだよ。

母 ちよつと。

娘 別に。

母 ため息をつく

娘 やりたい仕事してるやつなんていないっつーの。

息子 ぐるぐる

母 そんな事いわなくても。

息子 ぐるぐる

娘 いつまでも。

息子 家族の役割がまわっていく

娘 甘えすぎじゃない？

息子 立ち上がる

娘 何？

息子 部屋に戻る

娘 ため息をつく

母 そわそわする

息子 勢いよくやってくる

母 え？

娘 なに？

息子 映画のDVDを一瞬見せつけ、机に置く

息子 おれ、役者なる。

間

娘 は？

息子 東京行って役者なる。  
間  
娘 は？  
息子 以上。  
息子 部屋に戻る  
娘 え？  
母 あんなこと言うから。  
娘 いや、だって。  
母 まだ半年じゃない。  
娘 なんか聞いてた？  
母 え？  
娘 役者。  
母 勢いで言っただけでしょ。  
母 DVDを手に取り見る  
母 え？  
娘 どしたの？  
母 DVDを娘に見せる  
娘 わ。  
母 ね。  
娘 え、役者ってそっち？  
母 AV男優…  
娘 え、AV男優って、や、役者って言う？  
母 いや、やっぱり勢いで持って来ちゃったんでしょ。  
娘 ああ、そっか。  
母 DVDをまじまじと見る  
娘 見過ぎ。  
母 ……じゃあ。  
娘 なに？  
母 本当にAV男優だったらどうしよう。  
娘 いや、そんなわけではないでしょ。  
母 ちよっと聞いてくる。  
娘 いいって。  
母 え？  
娘 AV男優なるのか役者なるのかってよりさ。  
母 うん。  
娘 まず上京なんてしないから。勢いで言っただけでしょ。

母 ああ、そっか。

間

母 いや、でも。

娘 なに？

母 万が一ってことも。

娘 ないって。達也にそんな度胸ないよ。

母 そうかしら。

娘 そうだよ。

息子 荷物を纏めてやってくる

娘 え？

母 どうしたの？

息子 家、出る。

娘 は？

母 え？

息子 さっき言ったじゃん。上京して役者なるって。

間

息子 おれ、まじで役者なるから。

母 そんな勢い任せに決めたってだめよ。

息子 ……

母 それになんで役者なの？

息子 DVDを指差す

息子 黒澤映画見て、おれ、こういう風に人の心に残る作品作りに関わりたいって思っ

母 お芝居なんていままでしたことないでしょ。

息子 ……ないけど。

母 香苗に言われてカッとなったただけでしょ。

息子 ……

母 落ち着いて考えてみて。

息子 落ち着いて考えた所でなんも変わらないって。

母 ……

息子 母さんだってそう思っ

母 別にそんなこと思っ

息子 そうかな？

母 達也、本当に役者なりたいんだ

息子 え？

母 チラシを持ってくる

母 こっちでも市民劇団とかやっ

息子 DVDを取り見せつける

息子 おれ、本気で芝居がしたいんだ。趣味とかじゃなくて。

娘 達也、そのDVDや。

息子 まじなんだ。

DVDを机に置く

母 そっか。

息子 そう。

母 どうやって暮らすの？

息子 …友達の家にしばらく泊めてもらって、バイトして金貯める。

息子 ハケ口の方に向かう

母 こっちでお金貯めてからでもいいでしょ。

息子 …

母 そんな甘くないよ。

息子 わかってる。

母 いま出て行かなくても。

娘 本当に出ていくなら、ちゃんと話したら。

息子 椅子に座る

娘 売れる人なんて一握りだよ、役者なんて。

息子 分かってるよ。

母 山田さんのところのお兄さんだってミュージシャン目指して、売れなくて結局こっち戻ってきて仕事探してるのよ。

息子 おれは大丈夫だから。

母 年取ってから戻ってきたって、仕事なんてないのよ。

息子 おれは！

母 …

息子 売れるまで絶対帰って来ないから…絶対。

娘 本気？

息子 本気って言ってんじやん。

間

息子 …後、なんか話すことある？

母 AV男優は役者とは言わないわよね。

息子 は？

母 確認なんだけど。

息子 言わないでしょ。

母 AV男優になりたいんじゃないわよね？

息子 何言ってるんの？

母 そうよね。

息子 なんて？

母 あの、これ

母 DVDを取り見せる

息子 え。

息子 DVDを取りリユックに入れる

母 間違えたのよね？

息子 …うん。

母 よかった。

息子 じゃ、もう行くわ。

息子 DVDを確認しその場を去る

娘 次の日、兄の姿はありませんでした。

音楽に合わせたダンスシーン（食事や家事を行ったり日常の動きをダンス化）

音 CARAVAN PALACE/DORAMOPHONE

娘・父・浮気 椅子に座っている 母・浮気は隣同士

父 役者ねえ。

娘 ねえ。

父 なんてまた。

娘 黒澤映画みて、おれもこういう仕事したいって。

父 ほー。

浮気 素敵じゃない。役者。

父 役者ねえ。

浮気 あたし絶対できないわ、お芝居なんて。

父 なあ。

浮気 やりたい事見つけるってなかなかできないから。

娘 本当にやりたかったのかなあ。

浮気 どうして？

娘 私がばーって言って、そのまま出てっちゃったし。

浮気 そうなんだ。

娘 そうなんです。

父 やりたいことなあ。

浮気 若い内よ、そういうことできるの。

父 まあ、そうだな。

浮気 年取ったら、やりたくてもなかなか動けないから。

父 うーん

娘 若い内ねえ。

浮気 香苗ちゃんは？  
娘 え？  
浮気 香苗ちゃんのやりたいことは？  
娘 私は…今の彼氏と暮らしていければ、特に。  
浮気 いいわよね、誰かと一緒に暮らすって。  
娘 …いいですよね。  
父・娘 目が合う  
間  
娘 そろそろ帰ります。  
父 そうか。  
娘 うん。じゃあ、また。  
浮気 また遊びに来てね。  
娘 お辞儀をしてその場を去る  
母 部屋に入り、浮気の隣の椅子に座り携帯を手に取る  
父 携帯を手に取る  
母 もしもし  
父 おー、どうした？  
浮気 何かある度に掛かってくる電話  
母 あの、達也が  
父 うん。  
母 役者なるって上京するって。  
父 あー、その話か。  
浮気 電話越しに聞こえるその声が  
浮気 拳を握る  
母 くしゃみを2回する  
父 大丈夫か？  
母 うん。香苗から聞いた？  
父 ああ、ついさっき聞いた。  
母 そう。たぶん食べ物とか当分困ると思うから、お米とか送って欲しいのよね。  
父 ああ、そうだな。おれも出来るだけ協力するよ。  
母 協力…ですか。  
父 ん？  
母 慰謝料も払ってないんだからさ、それぐらいしてよ。  
父 ……  
母 父親でしょ。  
父 ……

母 ねえ。  
父 ……すまん。  
母 電話を切る  
間  
浮気 大丈夫？  
夫 ……うん。  
浮気 そう。  
母 電話越しに聞こえてた生活音  
夫 息子の事で、ちよつと。  
浮気 聞こえてた。  
夫 そうか…：知り合いに農家やってるやついるから、そいつに頼んでみるよ。  
浮気 ……うん。  
母 誰かと暮らしているのは感じていた。  
夫 どうした？  
浮気 もう、いいんじゃない？  
夫 え？  
浮気 2人共学校終わってるんだし、そこまで面倒見なくても。  
夫 うーん。  
母 それでも頼っている自分がいた。  
浮気 ……  
夫 そうは言ってもなあ  
浮気 親心？  
夫 うん。  
浮気 なら、いいんだけど。  
夫 うん？  
浮気 どうしても、ね。  
浮気 その場を去ろうとする  
母 怒りと  
母 テーブルクロスを裏返す  
娘 入ってくる  
夫 何にもないよ。  
娘 悲しみと  
浮気 そう。  
母・娘 その他、諸々。  
浮気 その場を去る 夫 後を追う  
娘 ただいま。



母 お帰り。  
母 ご飯は？  
母 食べてきた。  
母 そっか。  
母 うん。  
母 楽しかった？  
母 え？  
母 お父さんのところいたんでしょ。  
母 ……うん。  
母 お母さんも丁度さつき電話して。  
母 そっか。  
母 元気そうよね。  
母 え？  
母 お父さん。  
母 うーん、相変わらず、かな。  
母 ほんと、相変わらず、よね。  
母 ……  
母 こっちの事なんて知ったこっちゃないんだから。  
母 ……  
母 慰謝料だつて払ってるわけじゃないし。  
母 まあ。  
母 どーせ、女と暮らしてるんでしょ。離婚したのだから、その女に金使ってるから家  
母 にあんまり入れなかったのよ。  
母 そうなの？  
母 そうよ。こっちが必死にやりくりしてたのにさ。  
母 浮気だけだと思つた。  
母 え？  
母 離婚の原因。  
母 それだけで離婚なんてしないよ。  
母 そっか。  
母 たまに会って父親っぽい事して、本人は気持ちいいだろうね。  
母 そんな言い方しなくても。  
母 そうじゃない、実際。  
母 ……  
母 なんかしてくれた？  
母 え？

母 離婚してから、あの人なんかしてくれたかな？  
娘 …いや、それは、そうだけど。  
母 もう、ほんと嫌。  
娘 …私に言われても。  
母 …香苗にしか言えないよ。  
間  
母 達也は出て行っちゃうし、もうお母さんわかんないよ。  
娘 それいま関係なくない？  
母 関係なくない！  
娘 達也が上京してから、母の精神は乱れていきました。  
母 …関係なくない。  
娘 そっか。  
母 そうよ。  
娘 私は父に会いに行くのを辞めました。  
母 あたしが育ててきたの。  
娘 そうだよね、ごめんね。  
母 父親ぶって。  
娘 ごめん、ごめん。  
母 立ちあがり 深呼吸を1つ  
母 ごめんね。  
母 その場を去る  
娘 あたしだって、わかんないよ。  
彼氏 入ってくる  
彼氏 お邪魔します。  
彼氏 缶チューハイを持ってくる  
娘 あ、そこらへん適当に座って。  
彼氏 うん。はい、これ。  
缶チューハイを渡す  
娘 ありがとう。  
彼氏・娘 缶を開ける  
彼氏 ほい。  
彼氏・娘 乾杯し、一口飲む  
娘 ふう。  
彼氏 お母さんは？  
娘 たぶん、寝た、かな。  
彼氏 そっか。

娘 うん。

娘 もう一口飲む

娘 ふう。

彼氏 娘の様子を見る

彼氏 またなんかあった？

娘 またとか言わないでよ。

彼氏 ごめんごめん。

娘 ちよつと、ね。

彼氏 そっか。

娘 うん。

彼氏 生きてると色々あるよね。

娘 なにそれ。

彼氏 色々。わかんないけど。

娘 まだ若いのになに言ってるの？

彼氏 確かに、そりゃそうだ。

彼氏 軽く笑う

娘 でしょー。

彼氏 うん。

間

娘 お母さんがね。

彼氏 うん。

娘 またちよつと病んじゃって。

彼氏 おお。

娘 あたしだけこんなに辛い思いして、みたいな。

彼氏 ー。

娘 気持ちも分からなくないけどさあ。

彼氏 うん。

娘 もう離婚してしばらく経ってさあ、そんな言わなくても。

彼氏 まあ、なあ。

娘 あんただけじゃないっつーの。

彼氏 ー。香苗はどう思ってるの？

娘 え？

彼氏 お父さんのこと。

娘 どうって、うーん。

彼氏 うん。

娘 なんか、もう、父親って感覚があんまりないかも。

彼氏 へー。  
娘 浮気相手と一緒に暮らしてて、最初は、なんだろう、きっと母さんと似たような心境だったけど。  
彼氏 うん。  
娘 なんか、もう、考えるだけ無駄だなんて。  
彼氏 無駄？  
娘 うん、期待するだけ、悲しくなるから。  
彼氏 うん。  
娘 だから、父親って感覚が、あんまり無いかも。  
彼氏 そっか。  
娘 うん。  
彼氏 お母さんは期待してるのかもね。  
娘 え？  
彼氏 まだ、お父さんに。  
娘 ああ。  
彼氏 わかんないけどね。  
娘 うん。  
間  
娘 期待したって、いいことないのに。  
彼氏 娘の頭を撫でる  
娘 え？  
彼氏 なんとなく。  
娘 なにそれ。  
彼氏 なんとなく、こうしたくて。  
娘 ……ありがとう。  
間  
娘 今日どうする？  
彼氏 ん？  
娘 泊まってく？  
彼氏 ああ、どうしようかな。  
娘 あしたなんかある？  
彼氏 いや、等に予定はないけど。  
娘 そっか。  
彼氏 うん。  
間  
娘 どう、する？

彼氏 んー、泊まろうかな。

娘 やった。

彼氏 お世話になります。

娘 いえいえ。

彼氏 じゃあ、部屋いく？

娘 うん。

娘・彼氏 その場を去る

暗転

母 欠伸をしながら入ってくる

明転

テーブルの上にはパンと牛乳

娘・彼氏 入ってくる

娘 おはよー。

母 達也が出て行ってから、彼氏がよく泊まりに来るようになりました。

彼氏 おはようございます。

母 普通の良い子でしたが、

娘 あー、よく寝た。

母 私は妙な疎外感を感じていました。

彼氏 めっちゃいびきしてたよ。

娘 え、まじで。

彼氏 まじで。

娘 うわー、恥ず。

彼氏 娘のいびきの真似をする

娘 え、そんなに。

彼氏 うん。

娘 まじか。

彼氏 お母さんも聞こえませんでした？

母 なにか？

彼氏 香苗のいびき。

娘 聞こえるわけないでしょ。

母 うん、聞こえなかったわねえ。

彼氏 ああ、そうですか。

娘 どんないびきだよ。

彼氏 だからこんな感じの。

彼氏 娘のいびきの真似をする

娘 ちよっと、やめて。

彼氏 軽く笑う  
母 ぎこちなく笑う  
娘 ご飯たべよ、ご飯  
娘 パンを食べる  
彼氏 いただきます。  
娘 あ、忘れた、いただきます。  
母 いただきます。  
娘・彼氏・母 しばらく食事をする  
母 食事の進みが遅い  
彼氏 ごちそうさまでした。  
彼氏 食器を片づけようとする  
娘 あ、いいよ。あたし後で纏めてもっていくから。  
彼氏 えー、いいよ。  
娘 あー、そう？  
彼氏 自分で食べたものくらい自分で片づけます。  
娘 はーい。  
母の食事が止まる  
娘 どうしたの？  
母 ーん、なんでもない。  
娘 そう。  
母 ごめんね。  
娘 なにが？  
母 朝ごはん、こんなものしかなくて。  
娘 ーん？別にいいよ、そんなこと。  
母 せっかく彼氏さんいらっしやったのに。  
娘 そんな気使わなくていいよ。  
母 気使わよ。  
娘 そっか。  
母 そうよ。  
彼氏 戻って来る  
彼氏 おれ、先、部屋戻ってるね。  
娘 うん。  
彼氏 その場を去る  
母 良い子よね。  
娘 ーん？  
母 悟史くん。

娘 んー、そうかな。

母 うん。

娘 そっか。

間

娘 母さん。

母 ん？

娘 悟史と一緒に暮らそうと思って？

母 え？

娘 悟史と。

母 同棲？

娘 うん、安いアパート借りて。

母 ああ、そうなのね。

娘 将来的に結婚も考えてて。

母 うん。

娘 一緒に暮らしてみたいなって思って。

母 そう。

娘 母さんはどう思う？

母 どうって、そうねえ。

娘 うん。

娘 あなた達がよければいいと思うけど。

娘 うん。

娘 でも一緒に暮らすって大変よ。

娘 うん、だから結婚する前に、同棲しておこうって思ってて。

母 お金だっつかかるし。

娘 うん。

母 うちじゃだめなの？

娘 え？

母 うちで暮らすのはどう？

娘 ああ、うちでかあ。

母 そうそう。

娘 でも、それじゃあ母さん、気使っちゃうでしょ。

母 でもそれなら、お金もそんなに掛からないで済むし。

娘 まあ、そりゃそうだけど。

母 お母さんの事は気にしなくていいから。

娘 うーん。

間

娘 ちよつと考えてみる。  
母 そう。  
娘 うん、悟史とも話してみても、って感じかな。  
母 そうね。  
娘 うん、ごちそうさま。  
娘 片づけようとする  
母 ああ、いいわよ。お母さんやるから。  
娘 えー、いいよ。  
母 いいから。  
娘 ……  
母 ね。  
娘 ……ありがとう。  
娘 その場を去る  
母 ゆっくり皿を重ねる  
母 何、これ。  
夫・息子 椅子に座り、携帯を耳に当てている  
母 もしもし  
母 もしもし  
夫 もしもし  
息子 母から頻繁に電話が来るようになりました。  
夫 どうした？  
母 ーとね。  
息子 うん。  
夫 特に何があったわけではなく  
母 元気かなあって。  
息子 ただ、話が出たかった。  
母 電話したの。  
夫 そつか。  
母 順調？  
息子 あー、まあぼちぼち。  
母 そつか。  
夫 そつちはどうだ？  
母 うーん、特に。  
息子 そつか。  
母 うん。  
間  
息子 じゃあ、明日早いから。



夫 切るぞ。  
母 ああ、そっか。

間

息子・夫 電話を切りその場を去る  
娘・彼氏 入ってくる

娘 母さん。

母 ん、どうしたの？

娘 ここで暮らそうと思う。

母 ああ、そう。

娘 うん。達也も納得してるし。

母 そう。

彼氏 はい、掃除とか洗濯とかもやりますんで。

母 いいわよ、そのぐらい。

彼氏 いえいえ、住まわせて頂く以上は。

娘 そんな堅苦しくしないでいいよ。

母 そうよ、全然気にしなくていいから。

娘 家賃とか生活費は3人で割って、出すから。

母 ああ、そう、ね。

娘 そうすれば負担も少なくなるしさ、

母 うん。

彼氏 すいません、僕の稼ぎがもう少し良ければ。

母 いいのよ、そんなこと。

彼氏 いえ、すいません。

母 こうして

娘と

彼氏 その彼氏と

母 共同生活がはじまりました。

音 CARAVAN PALACE/DORAMOPHONE

母 食器を片つけた後、椅子に座る

娘 おはよう。

彼氏 おはよう。

母 おはよう。

娘 行ってきます

彼氏 行ってきます

母 行ってきます。

娘 ただいま。

彼氏 ただいま。  
母 ただいま。

間

母 おはよう、いってきます、ただいま、言えない。

娘 おはよう。

彼氏 おはよう。

母 帰って来ないのがこわいから。

娘 いってきます。

彼氏 いってきます。

母 ……いってきます。

母 はけ口を見る

母 2人分の朝食を準備して朝5時に家を出ます。

娘 おはよう。

彼氏 おはよう。

母 2人は大体7時ぐらいに起きて朝食を食べます。

娘 朝ごはん無理して作らなくていいから

母 と、娘は言いますが、私は作ります。ご飯だけは私が守りたかった。

母 一緒にいるように一緒にいない。

娘 今日、悟史とご飯食べてくる。

娘・彼氏 その場を去る

母 そんな感覚。

母 息子に電話をかける

息子 もしもし。

母 もしもし。

息子 おー、どした？

母 順調？

息子 ん？

母 仕事？

息子 ぼちぼちかなあ。

母 うんうん。元気ならそれでいいんだけど。

息子 うん、なんとか。

母 お盆とか帰って来る？

息子 いやー、売れるまでは、帰らないよ。

母 ……そっか。

息子 うん。

間

息子 どうかした？  
母 ーとね。  
息子 うん。  
母 悟史くんいるじゃない？  
息子 うん。  
母 いま、一緒に暮らしてるの。  
息子 え、まじで、そーなの？  
母 うん。  
息子 え？結婚？  
母 いや、まだ結婚はしてないんだけど。  
息子 うん。  
母 結婚する前に同棲してみたって。  
息子 へー。  
母 ほら、結婚しても一緒に生活してみて、合わないって事もあるだろうし。  
息子 ああ、でも、うちじゃなくてよくない？  
母 え？  
息子 どうかアパートとか借りてさ。  
母 うん、それはそうなんだけど。  
息子 うん。  
母 ほら、何かとお金かかるし、家の方がいいかなって。  
息子 そつか。  
母 うん。  
息子 おれが売れてたらなあ。  
母 まあ、時間のかかることだから。ね。いい役者になるには10年かかるって言ったらしいじゃない。  
息子 10年も待ってらんないよ。  
母 ー、あんまり詳しくないから、あれなんだけど。  
息子 母さんはそれでよかったの？  
母 え？  
息子 いや、新しく人と暮らすってさ、なんか、大変じゃん、色々。  
母 ああ、まあ。  
息子 気使っちゃうし。  
母 そうなのよねえ。  
息子 だよなあ。  
間  
息子 おれもしんどかったもん。

母 え？  
息子 共同生活。  
母 ああ、そっか。  
息子 いまは1人でいいけど。  
母 うん。  
息子 まあ、苦しい事に変わりないけど。  
母 なんか、食べ物送れる時に送るね。  
息子 うん、ありがとう。全然無理しなくていいから。  
母 うん。  
息子 おれが好きでやってることだから。  
母 でも・・・お母さんだから。  
息子 ン？  
母 ンーン・・・まあ、元気そうでよかったわ。  
息子 うん、元気元気。  
間  
息子 早くテレビ出て、家にお金入れられるようになるわ。  
母 うん、ありがとう。  
息子 うん。  
母 また電話するね。  
息子 うん、わかった。  
母 何か困った事あったら電話するのよ。  
息子 ありがとう。  
母 じゃあ、また。  
母 電話を切りストップ  
娘 入って来る  
息子 数日後、香苗から電話が来ました。  
娘 もしもし。  
息子 珍しいな、電話なんて。  
娘 ちよつと話あって。  
息子 どした？  
娘 最近さ。  
息子 うん。  
娘 悟史、家で暮らしてるんだ。  
息子 あー、らしいな。  
娘 母さんから聞いた？  
息子 うん、聞いた聞いた。

娘 それで一緒に暮らしてるんだけど。  
息子 うん。  
娘 なんか、もう、しんどくなってきた。  
息子 ん、なにが？  
娘 一緒にいるの。  
息子 え、悟史くんと。  
娘 んーん。  
息子 あ、母さん？  
娘 うん。  
息子 そっか。  
娘 最初は、楽しいっていうか、  
母 私の事なんて全然気にしなくていいから、2人の好きにして。  
娘 よさげだったんだけど。  
母 家の事もわたしやるから、ね。  
娘 そう言われてもさあ、お母さんだけに負担かけるわけにいかないし、ご飯とかも最近わたし作ったりするのね。  
息子 うん。  
娘 そうすると、全然ご飯たべなかつたりとか。  
息子 ああ、まじか。  
娘 そう、後ね、悟史に離婚の話とかもするの  
息子 え、そうなの？  
娘 うん。ほんと嫌。  
息子 まじか。  
娘 もう、家離れようかなって思っ  
息子 ……そっか。  
彼氏 入ってくる  
母 あの人が慰謝料払ってたら、達也だって大学いけたんだから。  
娘 また始まった。  
娘 ごめん、また連絡する。  
娘 電話を切る  
彼氏 そうなんですか。  
母 そうなの。普通あり得ないと思う。  
彼氏 ああ、まあ。  
母 慰謝料は払えなくても、せめて少しでも子供達にお金あげるとかね、できるじゃない。  
彼氏 そう、ですね。

母 自分はいいわよね、新しい相手と暮らして。  
彼氏 ……  
母 浮気相手にずっと貢いでたのよ、だから家にあんまりお金いれられなかったの。  
彼氏 そうなんですか。  
母 そう、別に浮気はいいの、男だし。でもそのせいでお金入れられなくて子供達にま  
で迷惑かけてたら、ねえ。  
娘 もう、しょうがないじゃん。終わったことだし。  
母 全然、終わってない。  
間  
母 あたしがどれだけ頑張ってこの子達育てたか、なんて考えた事もないんじゃない。  
娘 悟史、先、部屋行って。  
母 いい、いい、わたしいなくなるから。  
母 立ち上がる  
娘 もう、なんでそうなるの？  
母 だってそういうことでしょ？  
娘 いや…もう…悟史。  
彼氏 部屋に戻る  
母 座る  
娘 なんで？  
母 ん？  
娘 なんであんな話するの？  
母 あんな話？  
娘 お父さんの事とか。  
母 ああ。  
娘 ああって。  
母 そうですね。  
娘 ……どうしたの？  
母 え？  
娘 最近。  
母 別に。  
娘 ちよっと、変だよ。  
母 そりゃあ変にもなるでしょ。  
娘 そりゃああって、なに？  
母 ……なんでもない。  
娘 え？  
母 ……なんでもないって。

娘 なんでもないことないじゃん。  
母 なんでもないんだって。  
母 その場を去ろうとする  
娘 なんなの？  
母 え？  
娘 何が不満なの？  
母 不満って、別に。  
娘 別に。  
母 ……  
娘 言っつよ。  
母 お母さんいる？  
娘 え？  
母 お母さん、もう、いい？  
娘 いや、そんなことないよ。  
母 そう？  
娘 うん。  
母 そっか。  
母 その場を去る  
間  
彼氏 入ってくる  
娘 ごめんね。  
彼氏 ーん。  
間  
娘 どうしたんだろ。  
彼氏 ーん。  
娘 ね。  
彼氏 でも、やっぱり寂しいんだと思う。  
娘 うん。  
彼氏 お兄さんもいなくなつて、尚更。  
娘 うん、わかるんだけど。  
彼氏 ……うん。  
娘 ……  
彼氏 ……うん。  
娘 はあ。  
彼氏 家事とかもあんまりしない方がいいのかな？  
娘 ーん？

彼氏 いや、やりたいんだけど、一緒に住んでるし、それは。  
娘 うん。  
彼氏 でも、それで、お母さんが、なんだろ、うーん。  
娘 ……うん、わかるよ。  
彼氏 でも、なんもしないってのは違うと思うし。  
娘 うん。  
彼氏 難しいなあ。  
娘 出ようかな。  
彼氏 え？  
娘 家。  
彼氏 ……  
娘 母さんも、私に居て欲しいから、家で同棲してほしいんだなって思ってたんだけど。  
彼氏 うん。  
娘 でも、ずっとこんな感じだったら私、悟史と一緒に生活できないし。  
彼氏 うーん。  
娘 安いアパート借りてさ、そっちで暮らしたい。正直。  
彼氏 そっか。  
娘 悟史は？  
彼氏 おれ？  
娘 うん。  
彼氏 おれは、できれば、そうしたいけど。  
娘 うん。  
彼氏 でも…  
娘 でも？  
彼氏 香苗が居なくなったら、お母さんが、ね。  
娘 ……  
彼氏 大丈夫かな？って。  
娘 それは、そうなんだけど。  
彼氏 うん。  
娘 少し彼氏を見つめた後、俯く  
彼氏 頭を撫でる  
彼氏 どうしようなあ。  
娘 ……私は。  
彼氏 うん。  
娘 私は、悟史との時間を、大事にしたい。  
彼氏 ……うん。



娘 それだけなんだけど。  
彼氏 それは・・・おれも。  
娘 ほんと？  
彼氏 うん、それは、もちろん。  
娘 そっか。  
彼氏 どうして？  
娘 いや、なんとなく。  
彼氏 なんとなくじゃ、なさそうだけど。  
娘 そう？  
彼氏 うん。  
娘 そっか。  
間  
娘 お兄ちゃんにも相談してみる。  
彼氏 うん。  
娘 携帯を手に取る  
彼氏 あ、おれ、外そうか？  
娘 ーん、大丈夫だよ。  
彼氏 そっか。  
娘 息子に電話をかける  
息子 登場し、電話に出る  
息子 もしもし。  
娘 もしもし。  
息子 どした？  
娘 ちよつと、相談。  
息子 おお、相談。  
娘 うん、相談。  
息子 どした？  
娘 お母さんの事なんだけど。  
息子 おう。  
娘 やっぱ、しんどい。  
息子 そっか。  
娘 うん。  
息子 ……それで？  
娘 え？  
息子 どうしたい？香苗は？  
娘 わたしは、ちよつと、もう、安いアパート借りて悟史と一緒に暮らしたいなあって。

息子 なるほどなあ。

娘 うん。

息子 そっか。

娘 うん。

娘 …母さんと一緒に暮らそうって頑張ったんだけど、

息子 うん。

娘 もう、いいよね。

息子 うん、おれはなんとも。

娘 だめかな？

息子 何も言う権利ないなあって思っ

間

娘 何も言ってくれないんだね。

娘 …達也は。

息子 …いや、そうじゃなくて。

娘 電話を切る

娘 彼氏 見つめ合う

娘 彼氏 その場を去る

暗転

音 CARAVAN PALACE/DORAMOPHONE

明転

母・娘・彼氏 椅子に座っている

母 どうしたの？

娘 あの。

母 うん。

娘 色々考えたんだけど。

母 …

娘 同棲、辞めようと思う。

母 え？

娘 ちよつと、なんだろお互いの距離が近くなった分、一緒にいるのが当たり前になりすぎて。

母 ああ。

娘 ちよつと、距離置こうかなって。ね。

彼氏 ああ、はい。

母 なんでまたそんな急に。

娘 うーん、なんだろ。

彼氏 うん。

娘 ね。  
娘 ね。  
彼氏 あ、うん、なんか言いたくない事情あるなら深くは聞かないけど。  
母 ……うん。  
娘 ……うん。  
母 いいの？  
娘 え？  
母 2人はそれで。  
彼氏 ……はい。  
娘 ……うん。  
母 2人がいいなら、いいんだけど。  
娘 うん。  
母 気使ってない？  
娘 使ってないよ、これは単純に私達の問題だから。  
母 ああ、そう。  
娘 そう。  
彼氏 はい。  
母 悟史くんもいいの？  
彼氏 はい、ちよつと同棲は早すぎたのかなって。  
母 ……そう。  
彼氏 はい。  
間  
彼氏 じゃあ、ぼく、部屋で荷物とか整理してきます。  
彼氏 その場を去る  
母 別に仲悪くなったとかじゃないのよね？  
娘 そんなんじゃないって。  
母 そう。  
娘 うん、そうだよ。  
母 ……そうかしら。  
間  
母 もし、お母さんが邪魔になってるなら。  
娘 今日ご飯何？  
母 え？  
娘 ご飯。  
母 ああ、ご飯ね。  
娘 うん、ご飯。  
母 今日はカレー！

娘 あ、やった。

母 お腹空いた？

娘 うん。

母 ご飯にしよっか。

母 カレーを取りに行く

娘 あ、手伝う。

母 ありがとう。

母・娘 カレーを運んでくる

娘 いただきます。

母 ……いただきます。

娘 うま。安定の味。

母 それはなによりでございます。

娘 母さん。

母 ん？

間

娘 なんでもない。

母 なによ。

娘 なんでもないの。

母 そう。

息子 荷物を持って入ってくる

娘 え？

母 達也…

娘 どうしたの？

息子 別に。

娘 は？

息子 なんでもない。

母 なんでもないことないでしょ。

息子 なんでもない。

間

母・娘・息子 笑う

暗転

音 きのこ帝国「フェイクワールド」

おしまい